

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成 21 年度採択）

中間評価結果

番号	研究課題名	研究代表者	評 価
21-5	鋼橋の腐食劣化メカニズムの解明と耐久性診断に関する研究	琉球大学 助教 下里 哲弘	B

<研究の概要>

鋼橋の防錆防食の寿命予測法の提案するため、沖縄にて 30 年間曝露され腐食劣化した耐候性鋼橋に対して、構造部位別での腐食劣化度と ACM 腐食センサーを用いた環境調査により鋼橋の腐食劣化メカニズムを解明し、実環境と相似な環境における新腐食促進試験法を開発する。また、疲労と耐力試験の複合耐久性試験により実用的な鋼橋の耐久性診断法を提案する。

<中間評価結果>

曝露橋を対象に多彩な検討が実施され、有用な成果が得られつつあり、他地域にも適用できる一般性の向上に向けて、指摘事項に留意しながら、現行のとおり研究を推進することが妥当である。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 実務にどのように反映するのかをイメージして研究成果の取りまとめを行っていただきたい。
2. 対象橋梁での調査・研究成果を他地域橋梁にどう適用するか、さらに汎用性のある診断法へどう展開するかなどに考慮して研究を進めていただきたい。
3. 特定の橋梁の腐食環境を再現する試験装置の開発に主眼を置くことのないよう、留意いただきたい。